

交流学习を継続させるための手だての検討

中田町立上沼中央小学校 皆川 寛
気仙沼市立大島小学校 熊谷久恵
静岡大学情報学部 堀田龍也



交流のきっかけ

- 「同世代の仲間とのふれあいや自分の意見を伝え合う機会が少ない」という両学級がかかえている共通の悩み
- 児童の伝え合う意欲を高め、交流学习を1年間継続させるための手だてについて、担任同士で話し合った。

研究の目的

- 交流学习実践を行い、交流相手一人一人を意識させながら交流学习を**1年間継続**させる上で有効な手だてについて考察する。

結論

- 交流相手一人一人を意識させながら交流学习を1年間継続させるためには、以下の手だてが有効である。
 - 日常のコミュニケーションツールとして画像掲示板を活用する。その際、教師は必要に応じて交流を促す意図的な書き込みをすること。
 - 交流初期に直接交流を行うこと。
 - 地域素材を生かした題材を設定すること。
 - 掲示板を活用した作品の相互評価活動
 - ライブカメラを活用した情報発信・交流活動



交流初期の直接交流活動

